

学校関係者評価報告書（令和4年度）

令和3年度の学校評価委員会を開催し、「広島情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和4年9月29日（木）

学校関係者評価委員：関係企業2名、関係団体1名、卒業生1名、地域代表1名（計5名）

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 令和3年度の目標については問題ない。	令和3年度は、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染の影響で諸活動が制限された。目標値については一部状況に応じて見直した。
(2)学校運営 自己評価の内容で問題ない。	情報システム化に関して、これまで各部署独自のシステムしかなく課題として認識している。令和4年度に整備を開始した。
(3)教育活動 学生指導に対してはコロナ禍もあり制約もあったので、その状況を考慮して評価してもよい。	もっと企業関係者など外部との意見交換を進めたい。
(4)学修成果 国家資格の合格実績や就職実績をこれからも継続してほしい。	令和3年度も、広島県内の目標対象資格試験合格実績は、中四国トップを維持した。
(5)学生支援 自己評価で問題ない。	学生の健康の維持、指導、支援の強化をお願いしたい。特に、打たれ弱い若者が多くなっており教育の必要性を感じる。
(6)教育環境 コロナ禍に対応した教育環境を整備したことは評価できる。	事前アンケートなどを通じてインターシップに参加させる工夫を行う。
(7)学生の受入れ募集 自己評価で問題ない。	
(8)財務 自己評価で問題ない。	
(9)法令等の遵守 自己評価で問題ない。	
(10)社会貢献・地域貢献 自己評価で問題ない。 今後は低年齢層（小中学生）へ向けての講座も検討の価値がある。	高校に対してのIT教育講座などですっかりと社会貢献をしている。今後は今以上に幅広く実施していきたい。

以上